

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年3月2日

2022年6月末の1週間に米国で4400万人がオミクロン株に感染した：米国におけるBA4とBA5の流行期（2022年6～7月）のCOVID-19感染数とロング
コロナ発症数

【松崎雑感】

中国ではゼロコロナ政策終了後14億人の人口のうち11億人がコロナに感染したとされています。一方、人口が4分の1強のアメリカでは昨年夏の1週間で4400万人がオミクロン株に感染しました。人口比と期間を考えると、米中とも、ほぼ同レベルの感染者数と思います。オミクロン株の感染力の強さを如実に示すデータです。

【タイトル意訳】 2022年6月末の1週間に米国で4400万人がオミクロン株に感染した：米国におけるBA4とBA5の流行期（2022年6～7月）のCOVID-19感染数とロングコロナ発症数

Qasmieh SA, Robertson MM, Teasdale CA, et al. **The prevalence of SARS-CoV-2 infection and long COVID in US adults during the BA.4/BA.5 surge, June-July 2022** [published online ahead of print, 2023 Feb 20]. *Prev Med.* 2023;107461. doi:10.1016/j.ypmed.2023.107461

アクティブサーベイランスが行われなくなると、COVID-19の流行状況を正確につかむことが難しくなる。

とりわけ流行が急増している時期に問題となる。

オミクロン株BA4とBA5の流行期（2022年6月30日から7月2日）に、米国を代表する集団3042名を対象として断面調査を行った。

調査対象者にCOVID-19検査を受けたか、結果はどうだったか、COVID-19症状があったか、感染者との接触歴があるか、COVID-19感染後ロングコロナ症状が発症したかなどを問いただした。

性別と年齢を調整した問診までの14日間におけるCOVID-19感染率を推定した。

この期間中に、調査対象者の17.3%（14.9～19.8%）がCOVID-19に感染したと判定された。

これは4400万人の米国民に相当する。

ちなみにCDCの調査では同期間の感染者は180万と発表されている。感染者は18～24才層（2.2倍）、非スペイン系黒人（3.7倍）、スペイン系市民（2.4倍）、低収入層（1.9倍）、低学歴層（3.7倍）、基礎疾患を持つ人々（1.6倍）に有意に多かった。

調査の4週間前までにCOVID-19に感染した人々の21.5%がロングコロナ症状を訴えていた。

BA4とBA5の流行期に感染した多くの人々が、今後ロングコロナによって悩まされることが懸念される。